

(3) ICTを活用した「分かる授業づくり」の実施			
[P]	①教員のICT活用指導力の向上に係る研修の実施	① ICT活用ポータルサイトにより、実践する学校に資料等を提供 (ページ更新50回、アクセス数23,892件) ・「学びのDX事業」を実施し、市町村教育委員会や学校等からの依頼に応じてICTに関する研修の支援や相談会を開催(41回) ・各教育局の指導主事及び教員を対象とした指導者養成研修を実施(5月25日、323名参加) ・オンデマンド研修資料及び校内研修プログラムを作成・周知(18コンテンツ) ・ICT活用サポートデスクにより、ICTを活用した授業改善に関する電話相談等に対応(問合せ492件) ・クラウドサービスを活用し、道立学校間におけるICTに関する授業改善等に関する情報交換を実施(130回投稿) ・「教科指導講座」(情報)による優れた授業実践の共有(10月14日、21日、11月2日、16日、年4回、45名参加) ・道立教育研究所においてICT活用に係る専門研修を実施 ・『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けたICTの効果的な活用(小・中・高)(オンデマンド5月16日～6月6日、遠隔6月8日、10月4日、20名参加)「情報科教員の実践的指導力向上研修【情報】」(高)(オンデマンド5月9日～20日、遠隔6月2日、3日、16日、23日、9月8日7名参加) ・「特別支援教育ICT活用研修講座」においてICT活用の研修を実施(10月19日、69名参加) ・初任段階教員研修や新任校長研修などの教員研修においてICT活用の研修を実施	[D]
[A]	①引き続き、ICT活用ポータルサイトにより、校内研修等に活用できる資料等を提供 ・教科の学びを深める活用や教科の学びの本質に迫る活用に向けた研修の充実 ・オンデマンド研修及び校内研修プログラム等のコンテンツの充実と校内研修の推進 ・「道立学校ICT活用情報交換グループ」を校長会等を通じて改めて周知し、授業づくりなどに役立つ情報交換等の実施 ・授業改善セミナーで、高等学校共通教科情報科における「モデル化とシミュレーション」の研修を実施 ・道立特別支援教育センターにおけるICT活用研修講座の実施及び内容の充実 ・受講者同士がICTを活用した具体的な教育実践について検討する協議・演習等の工夫・改善	① ICT活用ポータルサイトに教員のICT活用指導力に応じたコンテンツの提供等の支援が必要 ・ICTを日常的に活用するとともに、教科の学びを深める活用や教科の学びの本質に迫る活用の充実が必要 ・教員によりICT活用指導力の状況が異なることから、ニーズに応じた支援が必要 ・ICT活用に関する学校間による情報交換の取組の効率化 ・多様な教育的ニーズに応じることができるよう、教員に求められる活用指導力やニーズに応じた研修機会の確保やポータルサイト等による情報提供等の支援が必要 ・道立教育研究所が実施する専門研修や初任段階教員研修等の基本研修において、ICTを活用した効果的な学習の在り方や教員のICT活用力向上に係る講座を設定、学校での教育活動に直接活かすことができる実践的な内容の充実が必要	[C]
(4) ICTを活用した遠隔授業、遠隔研修の推進			
[P]	①遠隔教育の取組の実践 ②道立高校の遠隔授業の充実 ③オンデマンド研修や遠隔双方向研修の拡充	①複式学級がある学校との遠隔合同授業に係る教育実践を取りまとめ、Webページに掲載(3月30日、Webページに9事例を掲載) ②北海道高等学校遠隔授業配信センターから遠隔授業の配信(地域連携特例校27校、離島の高校2校、8教科25科目) ③広域分散型の本道の特性を踏まえ、遠隔システム(Web会議)を活用した遠隔研修を実施(オンデマンド研修や遠隔双方向研修の実施率、教職員研修講座全体の73.9%)	[D]
[A]	①遠隔授業における様々な取組事例の収集と北海道公立学校等教育実践等での周知 ②遠隔授業配信センターから配信する授業の充実及び配信センターの拡大・複数校化等の検討 ③講義・演習・協議等のいずれの研修内容においても、オンラインを活用した遠隔同時双方向型・オンデマンド型での研修実施を基本とし、研修の目的・対象・内容等に応じて実施方法を工夫 ・遠隔システムを通じて他管内の教員が互いの実践を交流し学び合う遠隔研修のメリットを生かした研修の拡充	①北海道公立学校等教育実践において、遠隔合同授業等に係る教育実践をWebページに掲載したが、継続的に様々な好事例を周知していく必要があることから、今後も事例の収集と周知を図る ②受信校及び配信希望の増加を踏まえ、受講生徒の多様な進路希望に対応した教科・科目の開設や習熟度別学習などきめ細かな授業展開が必要 ・遠隔授業配信センターの施設面・人員面から、配信できる授業時間数の上限に近づきつつある状況 ③広域な本道において、地理的な条件に依らず、全ての教員等の研修機会を確保するため、継続的にオンラインを活用した研修環境の整備が必要 ・遠隔研修により教職員が心身にゆとりをもって、必要な資質能力を伸ばせるよう、研修内容の充実や遠隔研修の拡大が必要	[C]

### [指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値(上段)						進捗率	評価	出典(調査名等)	実施主体	調査期日又は調査対象期間	指標の対象
		実績値(下段)											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人) (「施策項目23」に再掲)	(H28) 5.2	4.7	4.5	3.6	3.6	3.6	3.6	360.0%	a	学校における教育の情報化の実態等に関する調査	文科省	R5.3.1	幼稚園を除く公立学校
② 学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「授業中にICTを活用して指導する能力」について「わりにはできる」「ややできる」と回答した教員の割合(%) (H30調査から項目内の設問内容と回答の選択肢が「できる」「ややできる」に変更)	(H28) 77.3	84.8	88.0	94.0	97.0	100	100	78.2%	d	学校における教育の情報化の実態等に関する調査	文科省	R5.3.1	幼稚園を除く公立学校
③ 学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「情報モラルなどを指導する能力」について「わりにはできる」「ややできる」と回答した教員の割合(%) (H30調査から設問が「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」に、回答の選択肢が「できる」「ややできる」に変更)	(H28) 83.0	88.6	92.0	95.0	98.0	100	100	89.2%	c	学校における教育の情報化の実態等に関する調査	文科省	R5.3.1	幼稚園を除く公立学校
評価結果	(a) 指標数 1	(b) 指標数 0	(c) 指標数 1	(d) 指標数 1	定量評価			C					
新型コロナウイルス感染症の影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組	② 教員が授業中にICTを活用して指導する能力を高めるため、教員のニーズに応じた研修コンテンツや活用事例の充実を図るなどして学校を支援												

### [参考指標の状況]

指標の概要	R元	R2	R3	R4	出典(調査名等)	調査主体	調査期日又は調査対象期間	指標の対象
ネットパトロールによる不適切な書き込み等の検出件数	小 10	16	34	27	ネットトラブル未然防止のためのネットパトロール等業務調査	道教委(委託業者)	通年	道内の公立小中高
	中 255	67	263	268				
	高 1746	573	872	619				